

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	サンティパーブ吹田教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 8日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士が在籍しているので、未就学児の方も安心して通所していただける。	・日常生活の訓練に基盤を置いているので、その部分の成長を感じてもらいやすいようにしている。	・保育士が在籍していることを広くアピールしていく。
2	・自分で選択できる能力が身についていく。	・自ら選択することでコミュニケーション能力の向上にも繋がると考えられる。	・個別支援計画により具体的な内容を明記していく。
3	送迎が安定している。	・利用曜日や送迎の時間帯など、可能な限り融通利かせて行うようにしている。	・新規の方などには特に、送迎に関して安心してもらえるように周知していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・目指していく支援内容に対しての職員の人数が少し不足気味であり、支援が不十分になる恐れがある。	・特に課題に位置づけられることはない。	・随時募集はかけている。
2	・未就学児の利用が少ない。	・児童発達支援も行っていることがあまり認知されていないように感じる。	・相談支援事業所などを中心に、広く認知をしていく。
3	未就学児の支援に関する研修などを行う回数が不足している。	・研修のプログラムが確立されておらず、着手する時間もあまり取れていない。	・事業所単位で進めるのは難しいので、企業組織全体で考えて取り組んでいく方向である。